

湖南省かわら版

2026年
7月号

古墳にコーフン！



「中国五千年の歴史」とは言いますが（以前は四千年とよく聞きました）が、現在は五千年の歴史が実証されています。世界最古の中国のビザは滋賀県大津市の三井寺にあるし、中国に古いものは残っていないのでは？と思っている方もいるかもしれません。そんなことはありません！ まさに「土の中から歴史が見える」と言うように、素晴らしい発掘成果が各地で報告されており、それら

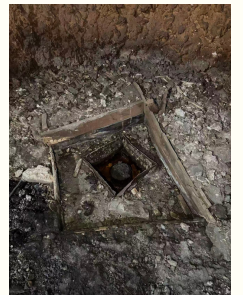


↑日本の銅鐸そっくりの、紀元前11世紀頃の銅の楽器

が地域の博物館に惜しみなく展示されています。湖南省博物館では、漢代の古墳から発掘されたミイラと副葬品一式を見ることができると有名です。素晴らしい青銅器のコレクションなどもあり、全部を見るには半日以上かかる規模感です。地域の宝が地域の博物館にあること、そして常設展を無料で公開していることが大変魅力的です。

今月のよんこま

ある日の1枚



これは古井戸の写真です。かわら版第2号で紹介した、湖南省にある平和堂を建設する際に発見されたもので、何とこの井戸から、三

国志の時代の、呉の国の行政文書である木簡（もっかん）や竹簡（ちくかん）が大量に発見され、当時大ニュースとなりました。平和堂の地下で、今でも大切に遺構が保存されています。発見された遺物は長沙簡牘（かんこく）博物館で見ることが出来ます。

そして、語りたくなっちゃう...

くうんちく
約2100年前のミイラが奇跡的な保存状態で発見されたという話は、ほとんど地獄がないことおそれる人もいます。



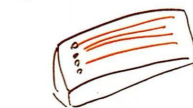
＜勝手な自論＞
中国の墳墓のミイラは地下深くに埋められる。日本の古墳も本当はミイラがなかったけど、技術がなかったから、地中に埋められたに違いない。知らんけど。

中国の博物館に行くと、日本でも見たことがあるようなものに会える。



三ノ宮神社の銅鏡

勾玉のような魚のかざり



お琴のような楽器

考古学の好きな方、中国はびっくりおもしろいぞよ！



ミイラの幸運夫人

所収の青銅器

同じように見えて、違うものもある。

方墳？



前方後円墳？

馬王堆漢墓